

保護者各位
学生の皆様

令和2年7月1日
高田短期大学
学長 梅林久高

コロナ感染症拡大防止について

－ 検温チェックと入力徹底 －

コロナ禍により授業をはじめ教育活動・行事にも支障はありましたが、皆様の協力とご理解によりまして目下、粛々と諸活動を展開しております。

【現状】

現在は非常事態宣言が解除され、都道府県間の移動も緩和され、県内では新たな感染者も出ることのない日々が続いています。

しかし、東京では感染者が徐々に増加しており、世界ではアメリカ、ブラジルをはじめパンデミックが次々に発生しており、死者数も増加しております。

【対策・課題】

ワクチンが開発されていませんので、絶対安心との対処法もみえない状況にありますが、やはり自らが自らの生命を守り、他者に感染を広めない予防の行動様式が一番大事と思います。

そこで本学では、学生の皆様の検温チェック、手指消毒を教職員が指導・対応していましたが、学生達一人一人がコロナ禍への危機意識を習慣化定着のために自主的に自己管理することとしました。

そのためのツールに教育支援システム「Manaba」を利用し、毎日の健康チェックの記録を入力することで注意喚起します。しかし、残念ながら健康チェックの入力が未提出の学生が多いのが実情です。県内感染者の少ないことからの気のゆるみによることも一因とも思われます。

今回のコロナ対策は合理的判断ができませんので、「不十分や、ちょうどいい」対応では、感染防止に失敗しますから「やり過ぎ」の策が重要だと思えます。

【お願い】

つきまして、保護者の皆様もご子弟・ご子女たちに必ず毎日・起床後検温チェックの徹底と報告を習慣化するようにご指導をお願い申し上げます。学生の皆様も自発的に習慣化することにより、将来には無量の財産になると思えます。

予防の徹底が安心感を生み、経済活動をはじめ教育・社会・地域の諸活動の始動を容易にするでしょうから。

心がけから毎日実行していきましょう。